

東洋ガスメーター株式会社

2019年5月10日

E型保安ガスメーター用 IoT対応NCU 発売のお知らせ

東洋ガスメーター株式会社(本社：富山県射水市、代表取締役社長：水越靖)は、現在同社が販売中のLPガス用超音波式ガスメーター（E型保安ガスメーター）に一体化可能なIoT対応NCUの発売^{※1}を開始しました。

本NCUは、ソフトバンク株式会社が発売した「LPガススマートメーター向け通信ボード」を内蔵し、これからの通信標準化に対応した次世代NCUとして新たに発売いたします。東洋ガスメーターでは、ガスメーターの情報が、遠隔地の集中監視センターでリアルタイムに把握できるシステムが、今後、業界標準となることを前提に、センターとの通信機能をガスメーターが保有すべき標準機能として位置付け、ガス販売事業者様の業務改善とさらなる保安の高度化に対応します。

【IoT対応NCUのポイント】

1. 「Cat.M1方式」による設置エリアの拡大、通信品質が向上します

IoT機器向け無線通信規格のCat.M1（カテゴリーエムワン）方式に対応。既に全国を網羅しているLTEネットワークがそのまま利用できるため、設置エリアを選びません。又、全世界で活用が進んでいる通信規格のため、コスト競争力も高く、今後普及拡大が見込まれ、長期間安定したサービス提供が可能です。

2. 「毎日検針機能」を活用した業務改善に対応します

低消費電力技術である「eDRX^{※2}」対応、及び「Uバスポート^{※3}通信」などの各種消費電力の低減策により、低コストで毎日の検針データ収集が可能になります。ガスメーターの検針値を毎日把握することで、お客様宅の残ガス量や使用量をリアルタイムに確認でき、配送精度向上などに活用することで、昨今の人手不足対応や、お客様サービス向上につながります。

3. 「NCUをメーターと一体化」し、通信工事のコスト低減が図れます

通信基板のコンパクト設計により、メーターとの一体化が図れました。現在発売中のE型保安ガスメーターの端子部に簡単に取付可能(実用新案登録済み)になり、通信工事の簡素化や工事時間の短縮が図れ、難しい設定作業も極力低減しました。

4. メーターの外観にマッチした「ユニバーサルデザイン」、設置場所を選びません

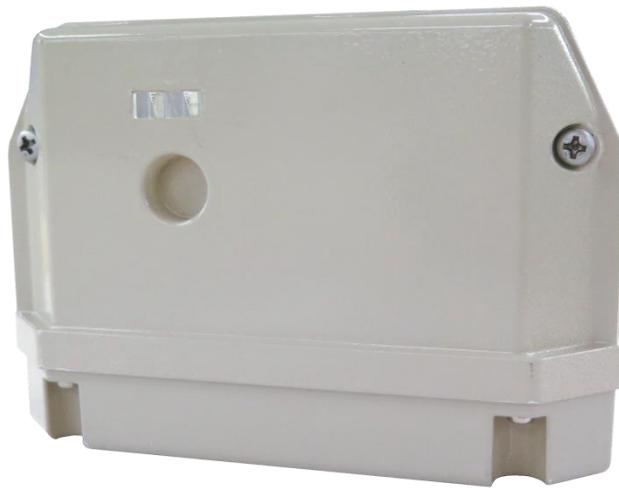
本NCUは通信基板の小型化により、デザインの自由度も増えました。メーターの外観寸法やデザインに影響を与えないスリムな形状の「ユニバーサルデザイン」とし、既設のS型メーターからE型メーターに交換してNCUを設置した際に、パイプシャフトのフタがぶつかったり、配管が邪魔をして取り付けられない、などのリスクを極力減らします。

※1：納期については、別途相談させていただきます。

※2：eDRXとは、間欠的な信号受信により、信号を受信していない間は一部機能を停止し消費電力を低減する技術です。

※3：Uバスポートとは、ガスメーター用の新しい通信方式。今後の情報量増大、多頻度通信に対応した新方式です。

【製品写真】



【参考取付例】



以上